

審議会等会議録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会	<p>それでは、定刻になりましたので始めさせていただきます。本日の司会進行を務めます、久喜市教育委員会指導課の川島でございます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>開会の言葉を副委員長 榎島良治 様、お願い致します。</p>
副委員長	<p>御多用の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>それでは只今より、令和2年度第2回久喜市教科用図書選定委員会を開催いたします。どうぞ、よろしくお願いたします。</p>
司会	<p>ご挨拶を賜ります。</p> <p>久喜市教科用図書選定委員会委員長 堀内俊吾 様、お願い致します。</p>
委員長	<p>挨拶</p>
司会	<p>それでは資料の確認を致します。資料は全部で4種類です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度第2回久喜市教科用図書選定委員会会議資料 2 専門部会調査研究報告書 3 学校調査結果及び展示会アンケート 4 投票用紙1枚 <p>以上でございます。不足がございますでしょうか。</p>
司会	<p>それでは「久喜市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則」第7条の規定にしがいまして、議長を選定委員会委員長の 堀内俊吾 様にお願いたします。</p>
議長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。お手元の次第にしたがって、議事を進めさせていただきます。</p>
議長	<p>まず初めに、「選定にあたって」事務局よりお願します。</p>

事務局	<p>会議資料1ページをご覧ください。</p> <p>選定の手順について御説明いたします。</p> <p>まず「各学校における調査研究の結果」及び「教科書展示会でのアンケート」の扱いについて御説明いたします。</p> <p>次に、中学校各教科の調査研究専門部会長による調査研究報告がございます。</p> <p>その後、質疑、応答の時間をお取りします。それが終わりましたら、専門部会長は退室し、皆さんに協議、そして、投票用紙に採点を記入していただきます。</p> <p>各出版社を5点満点で採点していただきます。選定委員が5名ですから、25点が満点となります。すべての教科の報告、協議、採点、投票が終了してから投票結果を集計し、皆様に報告いたします。</p> <p>その「投票結果」「各学校における調査研究の結果」及び「教科書展示会でのアンケート」、これらすべてを資料といたしまして、久喜市教育委員会令和2年7月定例会に提出いたします。</p> <p>本日の採点結果が、採択結果ということではございません。</p> <p>久喜市教育委員会定例会で採択されるものが「久喜市における令和3年度使用中学校用教科用図書」でございます。</p>
議長	<p>事務局案に御質問、御意見はありませんか。</p> <p>御異議なければ、「事務局案」で選定を進めてまいります。</p> <p>そこで、開票の公正を期すために立会人をつけたいと存じます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>開票時の立会人として、選定委員の中から、青木 真一 様をお願いいたします。</p>
議長	<p>事務局案いかがでしょうか。</p> <p>御異議がなければ、続いては「各学校における調査研究結果、および展示会場におけるアンケートの扱い」です。</p> <p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>はじめに、各学校における調査研究の結果は、「学校調査結果及び展示会アンケート」の資料1ページをご覧ください。各学校では選定委員会と同様に各出版社を5点満点で採点して頂いております。</p> <p>次に、久喜市での教科書展示会として、菖蒲総合支所会場がございました。開催期間は令和2年6月12日(金)から6月25日(木)までの14日間でございます。この間の来場者総数は409名でございます。内訳といたしましては、</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・一般 38名 ・学校関係者 361名 ・教育委員会等関係者 10名 <p style="text-align: right;">でございます。</p> <p>久喜市在住の保護者・一般の方が記入されたアンケートにつきましては、参考資料とさせていただきます。</p> <p>また、皆様の前に見本本を準備いたしましたので、必要に応じてご覧ください。</p>
議長	事務局の説明に御質問はありませんか。
議長 国語部会長	<p>それでは中学校の調査研究報告です。初めに「国語」の説明をお願いします。</p> <p>これから、中学校国語の研究調査報告を始めます。1ページからご覧下さい。</p> <p>はじめに、「内容」について報告いたします。</p> <p>「東京書籍 新しい国語」では、【知識・技能】面で「読むこと」に関連した「広がる言葉」や巻末資料の「言葉を広げよう」との関連付けなどによる語彙の拡充や、「論理的な言葉の力」の系統における情報を活用する力の育成の工夫などが見られます。【思考力、判断力、表現力等】では、「話す」「聞く」「話し合う」領域について言語活動の充実を図るとともに、「学習の流れ」を示し、言語活動の見通しを示すようにするなどの工夫が見られます。【学びに向かう力】等では、巻頭に示された各教材の「目標」「振り返り」「言葉の力」等により、見通しをもって学習できるようにする工夫が見られます。【読書】では、教材ごとの「読書案内」や資料編の「本の世界を楽しもう」による本の紹介、ポップづくりやビブリオバトルなどの読書活動を設定しています。</p> <p>「三省堂 現代の国語」では、【知識・技能】面で「読むこと」の教材末の「語彙を豊かに」、「辞書を活用する」などによる語彙の拡充や、「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」単元の設定など、情報を活用する力を高める工夫が見られます。【思考力等】では、「話すこと・聞くこと」の学習で、学年に応じて活動が深まる工夫など言語活動の充実や、「思考の方法」の紹介などの工夫が見られます。【学びに向かう力】等では、教材ごとに「内容を整理する」「読みを深める」「自分の考えを深める」「学びを振り返る」の流れを示し、学習の見通しを持たせる工夫が見られます。【読書】では、「私の本棚」「小さな図書館」で様々な本を紹介するほか、ブッククラブ、ビブリオバトルなどの読書活動を取り入れています。</p> <p>「教育出版 伝え合う言葉 中学国語」では、【知識・技能】面で「読むこと」の各教材末の「この教材で学ぶ言葉」「言葉と表現」などによる語彙の拡充や、情報を整理して表現する際に役立つ文型等の掲載などにより情報を活用する力の育成の工夫などが見られます。【思考力等】では、「話すこと・聞く</p>

こと」について、1年では四つの教材、2・3年では五つの教材により言語活動の充実を図るとともに、振り返りができる工夫もしています。【学びに向かう力】等では、巻頭の「言葉の地図」に学習内容と身に付けたい力の一覧を掲載するなどして、学習の振り返りの視点を示したり、「学びを生かそう」により、日常生活に生かせる言語活動を設けたりする工夫が見られます。【読書】では、各学年で「広がる本の世界」を紹介するとともに、本の帯やポップを作るなど、読書活動を取り入れています。

「光村図書 国語」では、【知識・技能】面で、「言葉を集めよう」、「比べよう」、「選ぼう」という教材の設定、巻末資料に「語彙を豊かに」を掲載し語彙の拡充を、「情報社会を生きる」の各学年への設定により、情報を活用する力を伸長する工夫をしています。【思考力等】では、「話すこと・聞くこと」で生徒同士の交流を通じての音声言語の技能の獲得とそれを活用した言語活動を設定することで伝え合う力を高めるなどの工夫が見られます。

【学びに向かう力】等では、巻頭に「学習のポイント」を系統立てて一覧表に整理するなど、学習者の振り返りを容易にするなどの工夫がされています。

【読書】では、教材ごとに関連する本を紹介する「広がる読書」が配置され、「読書生活を豊かに」で、読書記録やブックトークなど読書活動を取り入れています。

2 次に「資料」についてです。

「東京書籍」では、巻末に、論理的・文学的・対話的な言葉の力を高める「基礎編」、補充的な学習ができる「資料編」を掲載しています。「三省堂」では、巻末に、情報活用、古典芸能、社会生活に生かせる「話す・書く」活動、「学習用語辞典」を設定しています。「教育出版」では、巻頭に「言葉」をテーマにした文章を載せたり、「言葉の地図」で、1年間で学ぶ内容等を明示したりしています。「光村図書」では、巻末に「学習を広げる」として補充教材を配列したり、折り込みに「文学的・説明的文章」を読むための学習用語を解説したりしています。4社とも、ウェブサイト上で教科書と連動したデジタルコンテンツを閲覧、利用することができるようになっています。

3 次に「表記・表現」についてです。

「東京書籍」では、図解や写真等を多く示し、漫画や吹き出しを多用しているなどの工夫が見られます。「三省堂」では、巻末の「〇年生で学ぶ漢字字典」に複数の用例を示し、筆順も示すなどの工夫が見られます。「教育出版」では、巻末に当該学年と小学6年の学習漢字の筆順と用例、「理解に役立つ言葉」などの索引があるなどの工夫が見られます。「光村出版」では、付録の「〇年生で学習した漢字」では、教材の掲載例以外の複数の用例と筆順を示すなどの工夫が見られます。

4 最後に「総括」についてです。

「東京書籍」では、巻末に「『学びを支える言葉の力』のまとめ」「『言葉の力』一覧」を掲載するなど、言葉の力の育成を重視した構成としています。

	<p>「三省堂」では、巻頭に「領域別教材一覧」を掲載し、付けたい力を具体的に示し、巻末に「読み方を学ぼう一覧」を掲載し、「学び方」の習得を重視した構成としています。「教育出版」では、「学びのチャレンジ」や「ここが大事」を設け、思考力・判断力・表現力等を高めさせるために、教材の発展的な問題に取り組めるようになっていきます。</p> <p>「光村図書」では、教材の終末に「生活に生かす」や「達人からのひと言」、「つなぐ」を設け、実生活に役立つ言葉の習得と活用を重視しています。</p> <p>以上で、国語科専門部会からの報告を終わります。</p>
議長	ありがとうございました。それでは質問ありましたら、お願いいたします。
委員	QRコードや学びリンクなどデジタルコンテンツがついてるかと思うのですが、その量や使い勝手というところで、もし差がありましたら教えていただければと思います。
国語部会長	それについては、それぞれ呼び方が違っていて、QRコードで参照できるようになっています。それぞれ特色をもって、古典であるとか作家であるとか、そういった資料にあたるようになっていきます。申し訳ございません。特に、大きな差は見出せませんでした。けれども、かなり親切に各社とも設定がしてあります。
議長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか
議長	各社ともビブリオバトルやブックトークなど、まさに今、学校・授業の中で取り入れられているものが教科書の中に入ってますけども、このことについて何か話題に上がったものがあったら教えてください。
国語部会長	新しい学習指導要領の趣旨を生かして子供たちがこのように活動するという点を明示したり、示唆的に示したり、言語活動を充実させるという点で各社とも読書活動を設定されているなと思いました。読書については本の紹介と読書活動その2本立てでどの出版社も取り上げていたように思います。
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他いかがでしょうか。報告ありがとうございました。</p> <p>では、今の報告を受けて、御意見、御感想あればお願いします。よろしいですか。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>

議長

続きまして、「書写」に入ります。それでは、説明をお願いします。

書写部会長

報告書の5ページからご覧ください。

知識及び技能が習得されるようにするための工夫についてです。東京書籍では、一単元を6段階、三省堂では7段階、教育出版では4段階、光村図書では4段階のように一単元の学びが段階を経て、習得し生かそうとする工夫がなされた構成になっています。続いて、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫です。東京書籍には、「見つけよう」という見出しで書写の鍵を見つけ出したり、「生かそう」という見出しで他の文字に応用したりする活動を設定しています。三省堂では、「見つけよう」「考えよう」という見出しで、書き方のポイントを見つけるなど単元の課題を意識させるよう構成しています。教育出版では、取り掛かる際の手順や留意点・速さを意識して書く教材があります。光村図書では、「考えよう」という見出しで課題を考えたり、話し合ったりする活動を設けています。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫です。どの教科書も、文字文化に親しみその豊かさに触れられるようになっています。東京書籍では、「文字の泉」という見出しで文字文化に親しみ、その豊かさに触れられるようになっています。「振り返って話そう」という見出しでは、学習の目標と連動した自己評価項目について、自分の言葉で説明することや対話を通して振り返り、次の学びへの意欲を高めています。三省堂では、「見つけよう・考えよう」という見出しで、書き方のポイントを見つけるなど単元の課題を意識させるよう構成しています。また、「行書の特徴」という見出しでは、楷書と行書の違いを考えさせるために、どの部分に注目すべきかを注釈付けています。教育出版では、特に1年生の教材には書くときの留意点が箇条書きで示されています。「考えよう」という見出しでは、自ら課題解決をしている学び方と、話し合い活動を通じた学び方を区別し、「振り返ろう」という見出しの中で、目標に合わせて自己評価をするように構成しています。光村図書では、全教材に「目標・学習を振り返る」という見出しを設定しています。「コラム」という見出しの中に、文字文化の歴史や新たな文字文化について理解する構成になっています。毛筆と硬筆との関連です。東京書籍では、毛筆の学習の前後で硬筆で字形を確かめ、毛筆と硬筆の関連を図っています。三省堂では、毛筆で書く練習をさせた後に、「身につけよう」という見出しで硬筆教材を設定しています。教育出版では、「試し書き」という見出しで硬筆、「考えよう」という見出しで毛筆の課題を見つけ解決し、「活かそう」で再度硬筆の書き方を学習するようになっています。光村図書では、「生かそう」という見出しで、学習したことを硬筆でまとめ書きをして確認できるように構成しています。各教科や社会との関わりです。東京書籍では、「生活に広げよう」という見出しでは、職場体験や地域行事への参加など身近な場면을題材に生活と書写の関連を示しています。また、他教科との関連がある資料にマークを付け、意識をして学習に取り組めるようにしています。三省堂では、「学

	<p>びを広げる」という見出しで、文字の変遷や書の古典など関連する学習内容を掲載し、生活と関連させています。教育出版では、「学校生活に活かして書く」という見出しの項目で、レポートの書き方などを紹介し教科の学習に活かせるようにしています。光村図書では、コラムにおいて文字の歴史、源氏物語、ユニバーサルデザイン書体を取り上げています。また、他教科や生活の関わりを目次にも示しています。続いて、資料についてです。東京書籍では、Dマークがある単元では、デジタルコンテンツが掲載されインターネットを使って、毛筆教材の運筆動画などを見られるようになっていきます。三省堂では、書くときの姿勢や運筆などの内容を二次元コードで視聴することが出来ます。教育出版では、「学びリンク」という見出しのマークのある教材で、毛筆教材について書いている様子の動画を見られるようになっていきます。光村図書では、QRコードで示された「教科書連動コンテンツ」という見出しで、用具の準備や運筆など学習に役立つ動画が見られるようになっていきます。表記・表現についてです。東京書籍では、筆使いのポイントを基本の定格の書き方に始筆を「トン」という音に、送筆を「スウ」、終筆を「ピタ」と表記し、手本等手書き文字に近く運筆感覚をとらえる指導に対応しています。三省堂では、毛筆では筆使いについて筆圧や穂先の動きを、濃淡のある朱や黒の墨で示し解説しています。筆圧を文章で示し、運筆指導をしています。教育出版では、筆圧を一の力、二の力、三の力と表記し、運筆指導に対応しています。文字を書く基礎となる姿勢筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順などの事項から文字の集まりの書き方に関する事項へと、内容を系統的に示しています。光村図書では、毛筆のお手本の中心を記号で示し、筆遣いのポイントを記号・点線・濃淡・穂先を用いて示しています。総括です。東京書籍では、A B判を使っています。「書写で学ぶこと」という見出しで、書写学習の意義を、「書写の学習の進め方」という見出しでは、学習の見通しを説明しています。6つの段階を踏む中で、硬筆から毛筆そして硬筆の順番で学びを深め、書く力を身に付けられるように構成されています。三省堂では、B 5判を使用しています。学習の初めの目標を受けて、自身が振り返ることができる活動を設けています。どの単元も、毛筆で学習したことを硬筆の学習で復習させ、生活に生かすという流れで構成しています。教育出版では、A B判を使用しています。「目標を考えよう」「活かそう」「振り返ろう」の4段階構成と、学年ごとに単元の間にもコラムを掲載しています。書写テストでは、確認し三年間の学習が振り返られるようになっていくなど、主体的な文字の使い手になる構成になっています。光村図書では、B 5判を使用しています。行書の基本的な書き方を学ぶ教材では、半紙を原寸大で掲載しています。4つの段階を踏む中で、毛筆から硬筆の順で学びを深め、学習したことを活かせるように構成されています。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、委員の皆様から御質問があればお願いします。</p>

委員	<p>全ての教科書に、振り返りの欄が設けられていることのご報告をいただきました。学びに向かう力、人間性の涵養のための工夫がされているかという点なのですが、さらに次への学びの工夫という点で何かポイントがありましたら、ご説明頂きたいと思います。</p>
書写部会長	<p>どの教科書会社も、生活にあった生活に生かすことができる工夫が示されています。例えば、総合的な学習の時間のレポート、あるいは年賀状、お手紙、ポスターを作成するなど様々な工夫がされておりました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>教科書の大きさが違うと思うのですが、そのことについて専門部会では何か話題がありましたか。</p>
書写部会長	<p>サイズによって、中に表記できる部分が違っておりましたので、見やすさという点では話題になりました。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。 私から一つだけ、毛筆と硬筆に学ぶ順番が各社によって特徴が出ているのですが、このことについて何か話題にあがりませんでしたでしょうか。</p>
書写部会長	<p>どちらがやりやすいのかということでの話し合いをしました。</p>
議長	<p>御報告ありがとうございました。 では、協議といたしまして、御意見、御感想をお願いします。 それでは、投票用紙へ記入をお願いします。</p>
議長 社会部会長	<p>続きまして、「社会」それから「地図」に移ります。それでは説明をお願いいたします。 社会科は、地理・歴史・公民そして地図の4分野についてまとめた説明となりますので、各項目について簡潔にお伝えいたします。 初めに地理的分野について、9ページからご覧ください。発行者4社について説明いたします。 内容の1つ目「知識及び技能の習得」について。「東書」では、見開き1ページが、「学習課題」から本文、そして整理・まとめの流れで構造化。「教出」は、各単元の終わりの「学習のまとめと表現」により、個人やグループで学習</p>

内容を振り返り。「帝国」は、見開き1ページで導入資料と学習課題を提示、「確認しよう」などの問いが構造化。「日文」も、見開きページの初めに学習課題、最後の「確認」で本時の振り返り、という工夫が見られます。

2つ目「思考力・判断力・表現力等の育成」についてです。「東書」では、単元終わりの「資料から発見」等の思考ツールにより思考・判断した内容を適切に表現する学習。「教出」は、「読み解こう」等のコーナーで、諸資料から考察しまとめる学習活動を重視。「帝国」は、見開きページの右下「確認しよう」「説明しよう」のコーナーで、学習内容を自分の言葉で書く活動。「日文」は、「深めよう」のコーナーで、知識を定着させ活用する工夫が見られます。

3つ目「学びに向かう力、人間性等の涵養」について。「東書」では、世界地理の学習の導入にSDGs（持続可能な発展目標）、その他自然災害や防災のページで、現代の諸課題の解決に主体的に取り組む活動。「教出」も、世界地理の各単元の導入で、地域的課題を掲載し、SDGsを意識した学習を実施。「帝国」は、コラム「未来に向けて」で、持続可能な社会を作るために、生徒が社会参画する態度を育成。「日文」は、「アクティビティ」「自由研究」で、地球規模の課題や多文化共生等について考え、議論を通して主体的に考える、という特色が見られます。

4つ目「課題を追求・解決する活動の充実」について。「東書」は、1単位時間で学習内容の基礎基本を確認する活動と、要約・説明する言語活動の2段階を設定。「教出」は、見開きページの左上に学習課題、右下に本時の振り返りをする欄を設定。「帝国」も、学習課題と本時の確認を促す欄を設け、課題解決的な学習を、「日文」は、「地理+α」「自由研究」で、学習内容の理解を深める最新トピックスを紹介といった特色があります。

次に資料についてです。「東書」では、写真・グラフ等の資料がとても鮮明。国土地理院の電子地図にアクセスできる二次元コードを掲載。「教出」も、資料が豊富で視覚的に捉えやすい。「帝国」は、資料の読み取りポイントを示した「資料活用」。「日文」は、二次元コードからリンク集や動画、写真を参照できるという特色があります。

表記・表現では、どの教科書もUDフォントを採用。その他、「東書」は、地図やグラフ等の資料が視覚的にわかりやすい配置。「教出」「日文」ともに、本文と資料の関連を番号で示し、双方を結びつける。「帝国」は、地形図の立体感、視覚的な効果により地形的特色を捉えやすいという特色が見られます。

総括です。「東書」は、生徒の興味関心、深い学びにつながる文章表記、鮮明な諸資料等、配慮されている。「教出」は、学びを広げる・つなげる・深めるための工夫と、分野間の連携。「帝国」は、各章で学習内容を確認しながら話し合いをする場面を設定し、様々な意見を導き出す。「日文」は、掲載された資料が生徒の意欲関心を高め、質の高い学びになる構成となっています。

続いて、「歴史的分野」、13ページからご覧ください。7社について説明

いたします。

内容について、1つ目「知識及び技能の習得」について。7社すべて見開き1ページで学習の流れが構造化されています。「東書」は、基礎・基本の知識・技能の習得、資料の読み取り方・調べ学習の手法を紹介するコーナーが充実。

「教出」は、「歴史の技」のコーナーで個人やグループ活動で、そして「帝国」は、「技能をみがく」のコーナーで、歴史的な見方・考え方を働かせる上で必要な技能の習得。「山川」は、「歴史との対話」で、歴史を学ぶための基礎知識を説明し、「日文」は、「スキルアップ」欄で、調べ学習の方法や資料から情報を的確に読み取る。「育鵬社」は、「鳥の目、虫の目で歴史をとらえる」ページで、各時代の歴史の流れを大観し、各時代の特色を理解。「学び舎」は、「地域の博物館で調べる」でインターネットや博物館を利用した調べ学習等の方法を紹介するといった工夫があります。

2つ目の「思考・判断・表現力等の育成」について。「東書」は、「見方・考え方」のコーナーで、思考ツールを活用したまとめの活動。「教出」は、「読み解こう」で、地図やグラフ等の資料を読み取り考察する学習。「帝国」は、見開きのまとめ「説明しよう」で、学習内容を振り返り、自分の言葉で表現。「山川」は、見開きのまとめ「ステップアップ」欄で、「日文」は「確認」のコーナーで、本時の学習内容を確認するために、自分の言葉で説明する問いを設定。「育鵬社」は、論述形式で学習内容をまとめる問いがある。「学び舎」は、「歴史を体験する」のページで、学習を通して考えたことの話し合い・発表のために問いを設定という工夫が見られます。

3つ目「学びに向かう力、人間性等の涵養」について。「東書」「教出」「山川」は、「持続可能な社会の実現に向けて」、SDGsを取り上げ、現代の諸課題を歴史的側面から考える。「帝国」は、環境・人権などのコラムにより今日的課題を考える。「日文」は、人権・世界平和・国際協調など先人達の取組を歴史を踏まえて考える。「育鵬社」は、「歴史ズームイン」のページで、日本の歴史を深く学び、「学び舎」は、「フォーカス」のコーナーで、その時代の人々の生活や心情に迫る記述といった特色があります。

4つ目「課題を追求・解決する活動の充実」について。「東書」は、各章の導入から単元を貫く「探究課題」を設定し、学習に見通しを持たせる。「教出」は、「確認・表現」のコーナーで授業の振り返りを行い、内容確認や表現活動を行う。「帝国」は、単元を貫く問いの設定、1単位時間の学習の構造化がされた構成。「日文」も同様の構成です。「山川」は、「歴史にアプローチ」で、様々な角度から課題を追究。「育鵬社」は、「歴史のターニングポイント」で、資料を基にディベートや調べ学習を行い、様々な課題追究学習につなげる。「学び舎」は、見開き1ページ右下のミニコラムで、学習課題の追究を助ける工夫がされています。

次に資料について説明します。

どの出版社も、歴史学習に必要な写真・イラスト・地図・グラフなどの資料

が豊富で、本文と関連させた配置となっています。その他、「東書」は、Dマークコンテンツ、「教出」は「まなびリンク」、「帝国」「山川」は二次元コード、「日文」はデジタルマークを設けて、ICT機器を活用した学習につながる。「育鵬社」は他の教科書では見かけない写真資料を使用。「学び舎」は、復元写真や想像図など歴史を体感できる資料が豊富に掲載されています。

表記・表現についてです。

「東書」は本文の記述が平易で、本文と資料の掲載部分の背景色を変え、ユニバーサルデザインの視点に立った誌面です。「教出」は、見開きページに学習の見通しをもつための学習課題と学習内容の定着のための2段階の課題を提示。「帝国」は、本文、資料、注釈などが統一されたレイアウト。「山川」は、各単元の基本の色彩が日本史と世界史で分かれ、学んでいる領域が明確。

「日文」は、注釈が具体的な記述、理解の補足につながる。「育鵬社」は、各章の初めの「歴史絵巻」「歴史モノサシ」の掲載で、歴史の大きな流れと現在の学習範囲を確認。「学び舎」は、本文の一部が当時の人々の言葉を盛り込んだ物語調であるといった工夫が見られます。

総括です。「東書」は、生徒の興味関心を高め、主体的な学びを深める活動ができる。「教出」は、学びを広げる・つなげる・深める紙面、3分野の連携を図り総合理解を深める工夫。「帝国」は、世界史の内容が多く、世界と日本のつながりがわかりやすい。「山川」は、高校の学習につながる文章構成。「日文」は、年表や世界地図を用いて時間軸と空間軸から時代を大観し学習の見通しをもった学習、「育鵬社」は、歴史上の人物にスポットを当て、歴史の流れを核にした学習が可能。「学び舎」は、資料に注目し、疑問や関心をもって主体的な学びを目指す構成となっています。

次に、公民的分野、20ページからご覧ください。6社について報告いたします。

内容について、1つ目「知識及び技能の習得」について。どの教科書も見開き1ページで最初に導入資料と学習課題を提示し、本文・資料等を通して学習活動が進むような構成です。その他、「東書」は、「スキル・アップ」で、「教出」は、学習をサポートするコラム欄で、「帝国」は、「技能をみがく」「資料活用」の問いで、効果的に知識・技能が身につく。「日文」は、「情報スキルアップ」で、情報の読み取りや活用の際に必要な知識・技能を解説。「自由社」は、章末の「学習のまとめ」のページで、学習内容をチェック。「育鵬社」は、「スキル・アップ」で、発表や討論などの技能を身につける、といった特色が見られます。

2つ目「思考・判断・表現力等の育成」について。「東書」は、グループでの学習活動場面を設け、主体的・対話的で深い学びを促す。「教出」は、話し合い活動や資料を読み取る活動のための問いを設定。「帝国」は、現代社会で議論されるテーマについて生徒の考えを深めるコーナーを設定。「日文」は、「ア

クティビティ」「チャレンジ公民」のコーナーにより、思考・判断・表現力を効果的に育成。「自由社」は、発展学習として400字程度でまとめる課題を設定。「育鵬社」は、個人やグループでの学習活動を促すコーナーが随所に設定されているという工夫が見られます。

3つ目「学びに向かう力、人間性等の涵養」について。

「東書」「帝国」「育鵬社」は、SDGs（持続可能な発展目標）実現のために何ができるか、主体的に考える教材を掲載。その他、「教出」は、我が国の伝統文化、人権獲得、グローバル化の進展等に関わる人々を歴史との関わりで学習するページ。「日文」は、身近な地域の抱える課題を考え、社会参画を促す教材を設定。「自由社」は、既習事項を生かした記述問題で学習内容の確認と考察する力を養う工夫が見られます。

4つ目「課題を追求・解決する活動の充実」について。

「東書」は1時間ごとの学習課題、補助的な問いが設定され、最後のまとめの活動を通して課題学習ができる。「教出」は、「学習のまとめと表現」で、学習内容を振り返り、章全体の課題の追究・解決に向けて考察・表現。「帝国」は、「アクティブ公民」で、グループ学習による課題解決ができる。「日文」は、「深めよう」「公民+α」で、学習課題の追究ができる。「自由社」は、学習課題と確認事項の掲載により、理解を深めることができる。「育鵬社」は「つかむ・調べる・まとめる」の流れを明確にし、生徒が課題を追究・解決する学び方が工夫されています。

次に資料についてです。

「東書」「教出」「帝国」「日文」の4社は、ICT機器を活用した効果的な学習のためにQRコードやURLのリンクを表記。「自由社」は各単元の見開きに「ミニ知識」というコラムがあり、学習内容を補助。「育鵬社」は、主な法令や年表、日本の伝統文化一覧等、学習資料を巻末に掲載して理解を深めることができます。

次に表記・表現についてです。

「東書」は、資料掲載部分と本文の背景色を色分けし、ユニバーサルデザインの視点に立った構成。「教出」は、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウトに配慮し、読みやすい構成。「帝国」も、色覚等の特性を踏まえ、折れ線グラフ等は線の種類等に配慮したデザイン。「日文」は、グラフや地図等の図版の配色や体裁に配慮し、学びやすい紙面。「自由社」は、本文周りの用語解説と、1単位時間の最後に内容を総括する記載により、学習課題を解決。「育鵬社」は、図版は色覚特性を踏まえて判別しやすい色の使用や表示の工夫がみられます。

総括です。「東書」は学習課題をつかみ、課題を追究し、課題を解決していく流れが明確です。「教出」は、各章の学習の初めに単元を貫く学習課題を提示し、それを解決する学習を積み重ね、まとめの学習で振り返る流れ。「帝国」も、各章の初めに単元を貫く問いを明示し、見通しをもった学習に取り組める。

	<p>「日文」は、教科書全体を通して、学習課題の解決に必要な見方・考え方を明示。「自由社」は、学習課題を解決するための視点が各ページの最後に記載。「育鵬社」は、各章の初めに、法律・政治・経済などの学習内容を概観させ、現代社会の事象を自分事として捉える内容構成であると捉えました。</p> <p>最後に「地図」について、26ページからご覧ください。「東書」と「帝国」の2社について説明します。</p> <p>内容について、1つ目の「知識及び技能の習得」について。「東書」では、世界と日本の各地域の学習について、自然・産業・人口などの主題図から基礎的・基本的な知識を習得できる。「帝国」では、巻頭5ページで、地図帳の見方・使い方について詳細に解説しています。</p> <p>2つ目の「思考・判断・表現力等の育成」についてです。「東書」では、「テーマ資料」で、諸地域の特色を探究する資料を掲載。「帝国」では、「地図活用」の問いが、「社会的な見方・考え方」の視点に立っており、思考・判断・表現力の育成を目指した課題提示となっております。</p> <p>3つ目の「学びに向かう力、人間性等の涵養」についてです。「東書」でも、SDGsの17のゴール一覧を掲載、地球規模の課題を提示し、その解決に向けた態度の育成を目指しています。「帝国」では、環境教育・防災教育の視点に立った資料、SDGsの観点に基づいた資料が豊富です。</p> <p>4つ目の「課題を追求・解決する活動の充実」についてです。「東書」では、現代社会の諸課題について各テーマに関する資料を豊富に掲載し、教科書での学習をサポートし、「帝国」では、巻頭・巻末の資料図のページに「学習課題」が設けられ、学習テーマを追求する着眼点が示されています。</p> <p>資料について、「東書」では、世界と日本の各地域の主題図が鮮やかな色彩で、生徒が読み取りやすい。「帝国」では、地形図が立体感、土地の起伏感を視覚的に捉えられる。世界地図のなかに同緯度・同経度・同縮尺の日本地図を掲載し、世界の国々と日本の位置関係を掴むことができます。</p> <p>表記・表現について、「東書」では、文字や写真が鮮明で見やすい。文字の大きさや書体も適切。「帝国」は、フォントやカラーはユニバーサルデザインに対応、インクルーシブ教育に配慮。また、地図中の国名・都市名は、配色の工夫により文字が読み取りやすいです。</p> <p>総括として、「東書」は、地理的分野の教科書の構成に沿った配列。資料集としても十分活用できる。「帝国」は、従来よりも大判化、各地方の資料図が同縮尺でひと続きで掲載され、多面的・多角的に捉えやすい地図帳です。</p> <p>以上、社会科部会の報告となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p>

	<p>いたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、投票用紙に御記入をお願いいたします。</p>
<p>議長</p> <p>数学部会長</p>	<p>それでは次に「数学」について、説明をお願い致します。</p> <p>それでは、28ページからご覧下さい。</p> <p>東京書籍「新しい数学」です。</p> <p>「補充の問題」や「基本の問題」を節末に設け、節の基本的な内容の理解を確認できるようにしています。「深い学び」のページでは、問題発見・解決の過程を意図した活動を、「活用の問題」では、問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める問題を用意しています。「章とびら」で、学習への動機づけを行い、「学びをふり返ろう」で、問題解決で働かせた見方・考え方などを振り返り数学のよさを実感できるようになっています。「大切にしたい数学の学び方」では、問題解決の進め方とともに、発表のしかたや聞き方、振り返りや深める視点などが、「ノートのつくり方」などでは、基本的なノートの使い方の記述例を紹介し、学習習慣として身につくようにしています。教育のICT化への取り組みとして、デジタルコンテンツが使える内容には「D」マークが付けられています。カラーユニバーサルデザインに対応し、ルビなどの小さい文字にはUDフォントを採用し視認性を高めております。</p> <p>大日本図書「数学の世界」です。基礎的な概念や原理・法則についての理解や数学的な表現や処理の方法の習得、豊富な問題などで、練習、確かめ、ふり返りができるようにしています。問題の解決のしかたが身につくようにするため、事象を数理的に考察する活動や数学的な思考力、表現力やそれらを活用して考え判断する能力を育む構成となっています。学習の進め方を巻頭で説明し、主体的に学習に取り組めるよう、また、数学の歴史など、豊富な資料で数学の社会や文化などとのつながりを実感できる構成となっています。巻頭に「数学的な見方・考え方」を具体例で取り上げ、問題発見、問題解決の流れを示した活動では、自ら問題を見だし、解決の方法を考えるなど、主体的で深い学びへの配慮をしています。ICT教育対応として「ウェブコンテンツ」を豊富に用意し、対応するページにマークを付しています。カラーユニバーサルデザインをふまえた色使いやレイアウト、UDフォントを使用して読みやすくなるように工夫されています。</p> <p>学校図書「中学校数学」です。模範的な解答の書き方などを示すことで、基礎・基本を身につけること、誤りやすい点を明確にして習熟が図れるような構成となっています。問題を発見し、考察したり、性質を見いだした</p>

りすることで、統合的・発展的に課題を解決し、論理的な思考や必要な情報の取捨選択により説明する課題を取り上げる工夫をしています。学習からどんなことができるようになったか判断する「できるようになったこと」を設定し、巻末の「今の自分を知ろう」では、SDGsを取り上げています。問題発見から解決までの過程が見えるよう、ページの左側に、過程が明確になるように、新たな問題を見つけ、疑問を考える工夫や問題解決的な学習を通して、数学的活動へつながる配列となっています。デジタルコンテンツが使える内容にはQRコードが付けられています。誰にでも見やすくわかりやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮した紙面づくりとなっています。

教育出版「中学数学」です。表現・処理できる技能を身に付けるために、章の入口で既習内容を確認でき、章末では、基礎的・基本的な内容のふり返り、巻末では、反復練習ができる構成となっています。数学的活動を通して、数学的な思考力・判断力・表現力等を養い数学のよさを実感し、事象を論理的・統合的・発展的に考察する力などを養うため、活用する課題などを設けています。主体的に学習できるページを数多く設け、自主及び自律の精神などを養うこと、数学のよさや数学を生活や学習に生かそうとする態度などが養える構成となっています。実社会とのつながりなどが感じられる教材や話題を掲載し、幅広い知識と教養を身に付け、説明や論証の学習を充実させて、自分の考えを説明、他者の考えを聞く場面を設けています。「まなびリンク」ではデジタルコンテンツを活用した学習ができるようになっています。色覚等の特性をふまえた配色やレイアウト、表現方法、ユニバーサルデザインフォントなどの工夫をされています。

啓林館「未来にひろがる数学」です。既習内容をもとに新しい学習内容へと発展するために『ひろげよう』を設定し、『学びを確かめよう』では、基礎的・基本的な問題を取り上げています。考え解決する問題を章末問題で取り上げ、『力をつけよう』で論理的に考える力や工夫する力などを身につける問題配置となっています。【自分から学ぼう編】には、学んだことをさらに深め、利用して解決する『学びをいかそう』を用意し、「発展」として学習指導要領をこえる内容も取り上げています。章末では、身のまわりの問題を、『説明しよう』などでは、自分の考えを数学的に伝え、他者の考えを整理して学習を進めていけるような構成となっています。QRコードは、自学として利用することも考え詳細な解説を得ることができるようになっています。支障なく学習できる環境づくりとインクルーシブ教育に配慮した色使いで識別がしやすいUD書体を採用しております。本書は【みんなで学ぼう編】と【自分から学ぼう編】に分かれております。

数研出版「日々の学びに数学的な見方・考え方はたらかせる これからの数学 見方・考え方はたらき、問題解決のチカラが高まる これからの数学 探究ノート」です。

	<p>既習事項を確認問題とともにまとめた、「ふりかえり」を設け、共通点やちがいがわかる記述の工夫がされている例を示すなど、例と問の間にギャップが出ないように配慮されています。数学の有用性などが感じられるような構成や各章の学びから発生する自然な疑問を扱った題材などを別冊で取り上げています。活用して解決するタイプ「TRY」を各所に設け、解決を目指す活動が行えるようにしております。別冊には、本冊の内容を深め、学びを発展させるための素材を掲載しています。生徒に考えさせるような問いかけを各所に配置し、数学的活動を効果的に取り入れ、数学的活動を意図した場面には、数学的な見方・考え方をはたらかせ解決に向かう姿を対話形式で示しております。</p> <p>学習状況に合わせて、時期や分量を自由に決めて取り扱える別冊の「探究ノート」がセットになっています。全体にわたってUD フォントを大きめのサイズで用い、カラーユニバーサルデザインの観点から識別しやすい配色にしてあります。</p> <p>日本文教出版「中学数学」です。既習事項の確認を設け、新しい学習がスムーズに行えるように、各小節では、基礎的・基本的な内容を確認できるようになっています。学習の道筋を確認することで学習の見通しをもてるようにしています。〈考えよう〉では、数学的な思考力を、〈話し合おう〉では、数学的な表現力などをより確実にできる構成となっています。実在する資料などを取り上げることで数学を身近に感じ、数学の有用性を実感できるようにしています。巻末では、学習したことをふり返り、数学のよさを感じるような構成となっています。巻頭と各章における学習をつなげ、各小節では、汎用的な表現でくり返し示すことで、「数学的な見方・考え方」がさらに確かで豊かなもののできるような構成となっております。〈WEBマーク〉をつけた箇所に関連したコンテンツをウェブページに用意し、「プログラムと数学」を設けてあります。UD フォントの使用、罫線や囲みの使い方、色使い、レイアウトなど判読しやすい工夫がされています。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長</p> <p>議長</p>	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p> <p>それでは、ここで休憩に入ります。14時15分再開といたします。</p>

議長

再開させていただきます。それでは、「理科」につきまして、説明をお願い致します。

理科部会長

それでは、35ページからご覧ください。

2番 東京書籍です。内容では、＜科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫＞として、「科学で調べていこう」の中で探究の過程をマークと脚注のフローチャートで示し、探究的な展開を構成しています。また、＜思考力、判断力、表現力等の育成の工夫＞として、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考察の視点を示しています。「課題に対する結論を表現しよう」では、自分の言葉でまとめることで思考力、表現力を育成する場面を示しています。資料では、「つながる科学」「from Japan世界につながる科学」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による内容解説や練習ドリル、WEBサイトを活用したDマークコンテンツがあります。表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年よりも大きくしています。領域ごとに課題や実験などを色分けしています。総括として、巻頭での探究の流れや教科書の使い方の説明、指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列、単元末の「学習内容の整理」「確かめと応用」、巻末の「自由研究」「基礎操作」、自分で組み立てる地学単元のペーパークラフト等の資料の充実があげられます。

4番 大日本図書です。内容では、＜科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫＞として、探究の過程をマークで示し、探究的な展開を構成しています。また、＜日常生活や他教科等の関連を図る工夫＞として、「くらしの中の理科」で日常生活や社会との関わりを紹介しています。国語、算数・数学、美術、保健体育、技術・家庭、英語で学習した内容について「つながる」とマークを付け、教科間の関連を図っています。資料では、「くらしの中の科学」「Science Press」「Professional」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、「COCOAR2」を用いた動画による内容説明や補助説明、WEBサイトを活用したデジタルコンテンツがあります。表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年よりも大きくしています。全領域で課題や実験などの色を統一して表示しています。総括として、巻頭での学習の進め方や教科書の使い方の説明、小学校との関連や観察・実験の時期、理科室使用の重なりに配慮した単元配列、単元末の「まとめ」「読解力問題」、巻末の「自由研究」「基本操作」、3年間の復習問題等の資料の充実があげられます。

11番 学校図書です。内容では、＜科学的に探究する学習活動の充実を図る工夫＞として、探究の過程をマークで示し、マークを矢印でつなげ、探究的な展開を構成しています。また、＜思考力、判断力、表現力等の育成の工夫＞として、「結果の見方・考え方」「考察の見方・考え方」で結果・考察の視点を示しています。「しっかりふり返り」では、自分の言葉でまとめることで思考力、表現力を育成する場面を示しています。資料では、「ミッションX」「サイエンスカフェ」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による内容

解説やプログラミング教材、練習問題を、QRコードを活用したデジタルコンテンツに掲載しています。表記・表現では、全ての学年で文字サイズが同じになっています。全領域で見出しや実験などの色を統一して表示しています。総括として、巻頭での探究の過程や教科書の使い方の説明、指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列、単元末の「学びの深め方」「読解力問題」、巻末の「実験器具の操作」「周期表」、ホワイトボードとして使えるアイデアボード等の資料の充実があげられます。

17番 教育出版です。内容では、<知識及び技能の習得の工夫>として、章末や単元末での重要語句や基本事項の確認、観察・実験の近くの「基礎技能」で、知識・技能の習得の場面を示しています。また、<学びに向かう力、人間性等を涵養する工夫>として、巻頭で探究の進め方を示し、学習の流れを説明しています。「やってみよう」「チャレンジ」で主体的に学習する工夫、「ハローサイエンス」で環境問題に関心をもつ工夫をしています。資料では、「ハローサイエンス」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による補足説明や、科学に関する情報を示した、QRコードによるデジタルコンテンツ、まなびリンクがあります。表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年よりも大きくしています。全領域で課題や実験などの色を統一して表示しています。総括として、巻頭での理科を学ぶ意義や探究の進め方の説明、指導時期や学習内容のつながりを考慮した単元配列、単元末の「要点と重要用語の整理」「基本問題」、巻末の「学年末総合問題」「基礎技能」、実習や観察で用いる厚紙のカードやシート等の資料の充実があげられます。

61番 啓林館です。内容では、<知識及び技能の習得の工夫>として、章末や単元末での重要語句や基本事項の確認、「観察・実験のスキル」やQRコンテンツの動画で、知識・技能の習得の場面を示しています。また、<日常生活や他教科等の関連を図る工夫>として、「深めるラボ」で日常生活や社会との関わりを紹介しています。国語、社会、算数・数学、家庭、英語で学習した内容について「〇〇と関連」とマークを付け、教科間の関連を図っています。資料では、科学と部活、職業、食生活、自然との関連を示した「科学コラム」で学ぶ意義や有用性を伝えています。また、動画による内容説明、既習内容や学習内容の確認を示したQRコードによるデジタルコンテンツがあります。表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年よりも大きくしています。領域ごとに実験などを色分けして表示しています。総括として、巻頭での探究の過程や教科書の使い方の説明、同一学年内での指導順序の入れ替えが自由に行える単元配列、単元末の「学習のまとめ」「力だめし」「みんなで探Qクラブ」、巻末の「学年末総合問題」「サイエンス資料」「探Qシート」等の資料の充実があげられます。

以上です。

議長

ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。

<p>理科部会長</p> <p>議長</p>	<p>細かいところでいくつかあるのですが、特に専門部会の方で一番話題になったなというものがあれば、教えてください。</p> <p>探究の過程について示している部分について部会の中で関心が高かったです。</p> <p>その他いかがですか。御報告ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙に記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>音楽部会長</p>	<p>それでは次は、「音楽」について説明をお願いします。</p> <p>それでは、中学校音楽及び器楽の教科書について説明させていただきます。最初に、中学音楽 音楽のおくりもの（発行者名 教出・発行者番号 17）、中学生の音楽（発行者名・教芸 発行者番号 27）について比較をしながら説明いたします。ともに中学校1年生の教科書をご覧ください。両社の目次について比較してみます。音楽のおくりものP. 2, 3、中学生の音楽P. 6, 7目次をご覧ください。両社とも、細かなアイコンを用い構成についてわかりやすく示しております。</p> <p>音楽のおくりものP. 4, 5、中学生の音楽P. 8, 9をご覧ください。さらに目次に付随して学習内容が整理されています。</p> <p>音楽のおくりものでは、「学びのユニット」として「うたう」「つくる」「きく」に教材が分類され、それぞれの教材ごとに、「形式」「構成」「音色」「リズム」などの共通事項を切り口に学習内容が整理されています。</p> <p>それに対して、中学生の音楽では、「学習内容」として学習指導要領の改訂の方向性に示された「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」と教材の関連性を示しております。この部分が両者の教科書編集の特徴であることをご説明させていただきます。</p> <p>次に内容についての特色のある部分について「歌唱」「鑑賞」「創作」の教材を例に抜粋してご説明いたします。</p> <p>最初に共通歌唱教材について比較してみます。音楽のおくりもの1学年P. 14「夏の思い出」、中学生の音楽2,3学年上P. 20「夏の思い出」をご覧ください。</p> <p>音楽のおくりものでは、見開き右側に新出の記号が示され、見開き左側に〔共通事項〕を窓口に音楽を捉えて各教材が示され知識及び技能が習得されるよう</p>

にするための工夫がごございます。そして、P. 19「Let's Sing!」では、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫として、教科書に書き込みながら学習できるよう工夫されています。

中学生の音楽では、曲名の下に題材の目標が示され、見開き左側に〔共通事項〕が示されています。そして、P. 22、23では「深めよう!音楽」として音楽表現を主体的に工夫する過程を重視した具体的な内容が取り上げられ、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮され、教科書に書き込みながら学習できるよう工夫されています。

次に、鑑賞のページについて御説明いたします。音楽のおくりもの1学年P. 38～43、中学生の音楽1学年P. 44～をご覧ください。鑑賞曲のページの特徴として、音楽のおくりものでは、形式を軸に学習が進められています。P. 39では「話し合おう」の記入欄で仲間との意見交換を通して、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されています。また、右端には西洋音楽史の中でどの時代の音楽かがわかるよう工夫されています。

中学生の音楽では、曲想の変化を中心に学習が進められ、P. 47では「深めよう音楽」のページとして自己の考えを深めたいうで、話し合うよう構成されています。また、P. 46下の部分では同時代の日本の時代背景を記載する工夫がされています。次に、創作について御説明いたします。音楽のおくりもの1学年P. 32～35、中学生の音楽1学年P. 21～23、40、41をご覧ください。両社とも、音楽活動の基礎的な力を伸ばす工夫がされており、旋律創作、音楽づくりの2つの学びで構成されています。音楽のおくりものでは、その2つの学びを連続したページで系統性を持たせています。それに対し、中学生の音楽では、旋律創作は「My Melody♪」音楽づくりは「Let's Create!」とコーナーを分けた構成になっています。

以上、音楽の教科書についてのご報告でした。

続きまして、中学校・器楽の教科書についてご説明いたします。

音楽のおくりものP. 2、3目次、中学生の器楽P. 6、7をご覧ください。

音楽のおくりものでは、楽器の配列の仕方が、管楽器としてリコーダー、篠笛、尺八、弦楽器としてギター、箏、三味線、そして打楽器、アンサンブル曲集と配列されており、洋楽器・和楽器を問わず配列する中でP. 26、52「何が同じで、何が違う」のような対比が行われています。洋楽器・和楽器を問わず配列されることで日本の楽器というくくりでは無く、世界の楽器の中の一つとして扱っていることがわかります。それに対し、中学生の器楽では、リコーダー、ギター、日本の楽器、そして打楽器、アンサンブル曲集と配列されています。これは音楽の教科書同様、両社の教科書編集の特徴と言えます。

それでは内容について特徴的な事項をご説明申し上げます。まず、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫についてです。

音楽のおくりものでは、P. 42「音のスケッチ」において、曲の構成を中心

	<p>に学習を深め、実際に音を出し確かめながら、思考・判断が育成できるようになっています。中学生の音楽では、P. 49「My Melody」において、曲の構成について学習を深めイラストの吹き出しで、思考判断につながる助言が示されています。その他、記載のとおりでございます。</p> <p>最後に総括ですが、音楽のおくりものでは、各楽器に視点をあて、段階的に進められるような工夫がされています。中学生の器楽では、思考力・判断力・表現力を育成するために活用できるアンサンブル集が巻頭にあり、観点別の学習を系統的に深める内容となっています。</p> <p>以上、中学校音楽及び器楽の教科書についてご説明させていただきました。</p>
<p>議長</p> <p>議長</p> <p>音楽部会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p> <p>教材の配列にだいぶ特徴があるというお話でしたけども、それぞれ特徴があると思いますけども、器楽でも、一般でもよいのですけども、それぞれの良さについて教えてください。</p> <p>では音楽の教科書で説明いたしますが、目次の次のページを見ていただくとこれが特徴的だというご説明を差し上げましたけれども、教芸の方は思考・判断・表現この観点でやるならどの教材がふさわしいかなという見方ができます。あるいは、知識だったらどの教材がいいか、技能だったらどの教材がいいかなということを、まず第一に整理がされています。それに対して教出の方は各楽曲が、今の思考・判断・表現あるいは知識とどれぐらいの割合があるかということ、楽曲ごとに書かれています。ですから授業として、教材中心にものを見て行くのであれば教出の方がいいかな、観点から見て行くのであれば教芸の方がいいかなというような違いがございます。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>よろしでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙に記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>美術部会長</p>	<p>それでは次は「美術」について、説明をお願いします。</p> <p>美術部会から報告いたします。</p> <p>はじめに、「9 開隆堂」について報告いたします。44ページをご覧ください</p>

さい。「内容」についてです。知識及び技能の習得では、題材ごとに学習を通して学ぶ内容や、意義が分かるメッセージを示したり、用語解説を別枠で提示したりするなど、主体的に学ぶ工夫が見られます。また、参考写真と制作の手順が記されていることや、巻末の「学びの資料」により幅広い知識と教養が習得できる工夫がされています。思考力、判断力、表現力等の育成では、各題材に、「発想や構想に関する目標」を示すとともに、「学習のポイント」や発想・構想の方法、学習の進め方のヒントをマークで示しています。また、掲載作品にあわせた「作者の言葉」や「アイディアスケッチ」を取り上げ、作品の発想・構想を学ぶことができる工夫が見られます。学びに向かう力の育成では、美術で学習したことを職業に生かしている人物を紹介したり、生活に生きる美術を紹介したりと学ぶ意欲へつなぐ工夫が見られます。一人一人のよさや可能性をのばす工夫では、鑑賞の観点や制作の手順示すことで自らがイメージを広げ、考え、決定し実現できるようにしています。

「資料」については、原寸大の作品や細部を拡大した図版の掲載、QRコードによる参考作品例や動画の視聴ができるようになっていきます。「表記・表現」については、作品に「図番号」をつけ、授業内での使用が分かりやすくなる工夫や学習のポイントや用語をマークで示す工夫がされています。

つぎに、「38 光村」について報告いたします。45ページをご覧ください。「内容」についてです。知識及び技能の習得では、各題材に造形的な見方・考え方を働かせることを促す目標を設け、実感を伴った理解や活用につながるよう工夫されています。共通事項や創造的スキル、美術史に関わる資料が、「学習を支える資料」として掲載されています。また、完成作品と合わせて制作の手順が掲載され、技能を習得し活用する手助けとなっています。思考力、判断力、表現力等の育成では、多くの生徒作品を掲載し、制作過程を「みんなの工夫」を題して紹介するとともに、「作者の発想・構想」というコラムも掲載され、発想・構想を広げる工夫がされています。学びに向かう力の育成では、職業体験と関連した作品や、社会における美術の役割を紹介した「美術の力」など、キャリア教育との関連に特徴があります。一人一人のよさや可能性をのばす工夫では、「みんなの工夫」をはじめ、制作過程を詳しく示し、主体的な作品作りができる工夫がされています。「資料」については、生徒作品が多く掲載されるとともに、鑑賞図版では、用紙の素材を変える工夫がされています。また、QRコードによる音声ガイド、360度動画の視聴ができるようになっていきます。「表記・表現」については、各題材の冒頭に鑑賞作品を掲載し、表現と鑑賞を関連付けた深い学びになるような特徴が見られます。また、安全に関する注意や資料、他教科とのつながりをマークで示す工夫がされています。

つぎに、「116 日文」について報告いたします。46ページをご覧ください。「内容」についてです。知識及び技能の習得では、各題材に「造形的な視点」を設定し、掲載作品から感じたことを意識させ、活動と知識が結び付けられるような工夫がされています。また、「学習を支える資料」が巻末にまと

	<p>められており、生徒が主体的に材料や用具の取り扱いができるよう工夫されています。思考力、判断力、表現力等の育成では、発想や構想と鑑賞の双方で働く「中心となる考え」を示し、鑑賞したことが発想・構想を練る時に生かされるよう工夫されています。また、情景写真が掲載され、生徒が作品や友人の活動に対して、よさや美しさを感じ取ったり考えたりできる特徴が見られます。学びに向かう力の育成では、「学ぶ目標」が示されるとともに、活動が終わった後においても学びを生かすことができる例示が示されています。また、料理家や研究者など美術に直接携わる仕事でない人を紹介し、美術の学びが生活に大きく関わっていくことが示されています。</p> <p>一人一人のよさや可能性をのばす工夫では、美術の学びに向かう生徒に対するメッセージを掲げ、美術の学びについて伝えるとともに、生徒が自分の活動を振り返り、意欲や興味・関心をもてるよう工夫されています。「資料」については、多方面で活躍している有名人を掲載し、キャリア教育に関連する題材に通じる構成となっています。また、QRコードによるコンテンツが活用できるようになっています。「表記・表現」については、生徒の発想や構想、工夫が読み取りやすいよう、一部を拡大して掲載しています。また、美術の用語、関連資料等はマークを使って示されています。</p> <p>以上で「美術部会」の報告を終わります。</p>
<p>議長</p> <p>委員</p>	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p> <p>3社の教科書なんですいろいろな作品が掲載されて非常に見やすい形になっているのですが、見比べていたときにそれぞれの題材のところで表現鑑賞と一緒に明記されているものと鑑賞それから表現と別のページに記されているものがあります。専門部会議の方では何かそれらの表記についてというところで分かれている一緒になっているというところで何かご意見が出ましたら参考にお聞かせください。</p>
<p>美術部会長</p>	<p>3社ともそれぞれの学びの中でのつながりが見受けられるという話が出ました。開隆堂についてはそれぞれの学びがつながるようによくところで鑑賞とセットで学ぶようにできていました光村ですけれども学びのストーリーが見える形が展開されております鑑賞から自分たちの生活に戻りそこから表現につなげ又鑑賞に戻るといような流れです。日文についてはセットということで2つのセットを鑑賞と表現をセットにしながら進めていくというよう活動が展開されるような工夫が見受けられるという意見がありました。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願い</p>

	<p>いたします。</p> <p>よろしでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙に記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>保健体育部会長</p>	<p>それでは次は、「保健体育」について、説明をよろしくをお願いします。</p> <p>失礼いたします。47ページからご覧ください。中学校保健体育の研究調査を報告いたします。教科書は、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研」の4社でございます。それぞれ、内容、資料、表記・表現、総括の特色について報告いたします。なお、内容については、「知識及び技能が習得されるようにするための工夫」「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」「学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫」「生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫」の4つ観点で説明いたします。初めに「東京書籍 新しい保健体育」です。「知識技能の習得の点」では、運動やスポーツの学び方では、技術と技能、戦術と作戦についてイラストを使って分かりやすく説明され、知識及び技能が習得できる内容になっています。「思考力、判断力、表現力等の点」では、「見つける」「課題の解決」「広げる」で、それぞれのステップに応じて発問が設定されており、課題の合理的な解決に向けて思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されています。「学びに向かう力の点」では、各単元の「広げる」や、章末の「日常生活に生かそう」には、学習内容を実生活に当てはめて考える活動が設けられ、学びへの意欲を喚起するように工夫されています。「生涯にわたり豊かなスポーツライフの点」では、様々な形でスポーツに関わる姿が示され、生涯にわたってスポーツに親しむ楽しさや、交流する意義などが考えられるよう工夫されています。資料としては、動画やWebページなど50のオリジナルコンテンツが用意されており、家庭でも手軽に利用して学びを深めることができるようになっています。表記・表現は、巻末に「キーワードの解説」が設けられていたり、挿絵が生徒に親しみやすいものになったりしています。総括として、「今日の学習」、「やってみよう」、「本文・資料」、「考えてみよう」、「生かそう」という学びの道筋が見え、他教科との関連も示されており教科横断的な指導にも有効です。</p> <p>次に「大日本図書 中学校保健体育」です。「知識技能の習得の点」では、運動やスポーツの学びで、技術と技能、戦術と作戦についてイラストや写真に吹き出しを使用して分かりやすく知識及び技能が習得される内容になっています。また、「中学校体育WEB」に「まとめの問題」を用意し、確実に知識を定着させることができるようにしています。「思考力、判断力、表現力等の点」では、「やってみよう」「活用して深めよう」が設けられており、思考力、判</p>

断力等の育成とともに習得した知識を活用できる内容になっています。「学びに向かう力の点」では、「トピックス」や「つかもう」で、身近な題材や生活について取り上げ、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう工夫されている。「生涯にわたり豊かなスポーツライフの点」では、「学びを活かそう」で、各章ごとに、自分で考え実践していく内容が設けられており、生涯にわたって実践する資質や能力を養う工夫がされている。資料としては、デジタルコンテンツが用意されており、専用のアプリをインストールした端末を用いて動画を活用することができます。表記・表現は、単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られます。総括として、基本的に1単元が見開きで構成されており、左側に本文、右側に資料となるように配置されていることや、Web保体情報館で学習に関連のある情報が調べられるように紹介するなど、ICTを有効に活用できるようになっています。

続きまして、「大修館書店 最新 中学校保健体育」です。「知識技能の習得の点」では、イラストや図表が豊富に掲載され、視覚的にも知識と技能の習得に役立つよう工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の点」では、各単元の「学習のまとめ」において自分自身のこととして考えさせる設問が多く示されており、話し合い活動を通して表現力等を育成することができるよう工夫されています。「学びに向かう力の点」では、学習意欲が高まるような話題や事例等を提供するとともに、学びを人生や社会に生かす力を育成できるよう今日的な学習課題を充実させています。「生涯にわたり豊かなスポーツライフの点」では、生活に関連した情報を提供する「コラム」「事例」や、実生活に生かして考える課題「体育の窓」「保健の窓」を通して、実践力を養う工夫がされています。資料としては、「トピックス」や「ミニ知識」では学習に関する問いかけや話題が豊富です。表記・表現は、単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られます。総括として、豊富な写真資料や図表を用い、視覚的にも色彩や紙面レイアウト等、学習に取り組みやすい工夫がなされていることや、各章末のまとめの問題とともに学習活動への取り組み方について評価できる欄を設けており、効果的に学習を振り返ることができるようになっています。

最後に「学研 中学保健体育」です。「知識技能の習得の点」では、特徴として全ての項目が「まとめる・深める」または「実習」で構成され、キーワードを掲載してその時間で習得した知識を活用する学習活動ができるように工夫されています。「思考力、判断力、表現力等の点」では、話し合う、記述する、表現するなど、コミュニケーション能力や論理的思考力の育成を促すための言語活動を随所に設けています。「学びに向かう力の点」では、「もっと広げる深める」「探求しようよ！」を設け、興味・関心に応じて学習を深められるようになっていたり、学びに向かう力を養えるように本文に関連した「コラム」が設けられたりしています。「生涯にわたり豊かなスポーツライフの点」では、「保健体育と情報」や「情報サプリ」のコーナーを通して、健康安全に

	<p>ついて科学的に理解し、健康の保持増進に生かす工夫がされている。資料としては実習の動画や関連サイトと連動し、QRコードを読み込み「教科書サイト」にアクセスすることでコンテンツが得られます。表記・表現は、単語や文章や文末に補足説明や関連資料へのリンクを示す工夫が見られます。総括として、学習内容をキーワードごとに再整理して教科横断的な関連を示していることや、巻末には豊富な関連資料等が掲載され、幅広い知識を習得し、発展させられるような内容構成となっていることが挙げられます。</p> <p>以上で中学校保健体育教科書調査報告を終わります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>体育分野も保健分野も、中学校の学習というだけにとどまらず生涯において必要となる基本的に基礎的なことと、実生活の中でそれを活かしていけるかということが大事かと思うんですけども、何か教科書によって差はございますか。</p>
保健体育部会長	<p>これから実生活に活かしていける学習を深められるというところで GIGA スクール一人一台タブレットの観点からも調査研究しました。量的なものど内容的なもので、量的なものについては東京書籍が量的なものは一番多かったように感じました。内容の深さ的には学研が多かったように感じたという話し合いをしました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>今カリキュラム・マネジメントで教科横断的な教育課程をというをいう話が出ていましたけれどもこの4社の中で教科横断的な視点のポイントがありましたら、それぞれお知らせいただけたらと思います。</p>
保健体育部会長	<p>先ほどの説明で申し上げたところで、1番最初と4番目の会社の方で報告の説明をさせていただいております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙にご記入をお願いします。</p>

議長

技術・家庭科部
(技術分野) 会長

次は、技術・家庭科の技術分野です。説明をよろしくお願いします。

51ページからご覧ください。

中学校技術・家庭科(技術分野)の研究調査結果を報告いたします。まずは、東京書籍です。内容の特色は、知識及び技能が習得されるようにするための工夫の視点からは「技術の工夫」という項目が、ほとんどのページに掲載されており、知識をより深めることができる内容になっています。全編において、問題の発見と課題の設定を設け、主体的に問題を見出し、柔軟に問題解決に取り組めるようになっております。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫の視点からは、「技術の工夫を読み取ろう」「問題を発見し課題を設定しよう」という流れで学習内容が構成されており、課題設定例の中のプリント記入により、取り組みが効率的に行える構成になっています。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫の視点からは、適切に技術を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養うために、「最適化の窓」「技術の工夫」という欄を設けています。技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深めるための工夫の視点からは、身近な生活環境から広い社会への視点を広げるイラストがあり、課題を設定する取り組みのヒントとなっています。より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫の視点からは、「技術の匠」という項目を設けることにより、技術の学習や社会とのかかわりについて考えを深められるように工夫しています。資料の特色は随所に「資料」というコーナーが掲載されており、技術という教科に対し、より興味・関心を持たせられるようにしております。表記・表現の特色は分類ごとに多様な配色が利用されており、小学校や他教科との関連も色分けして示されわかりやすく表現されております。総括としてすべての単元において、基礎的な内容から発展的な内容にいたるまで分かりやすく作られております。

続きまして教育図書です。内容の特色は、知識及び技能が習得されるようにするための工夫の視点からは「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」という学習段階の流れが統一しており知識・技能の学びが深められるようになっております。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫の視点からは、「じっくり学ぼう」の章では問題解決のための問題発見、解決のための構想、設計の流れがあり、問題発見から解決までの見通しが持ちやすくなっています。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫の視点からは、「やってみよう」の内容で実践的な態度を養い、適切に技術を工夫するための学びにつながるように工夫しています。技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深めるための工夫の視点からは、「スゴ技」「技ビト」では社会で実用化されている技術に触れることで社会への関心を高め、環境に配慮されている技術を身近に感じることができる工夫がされています。より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を

	<p>工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫の視点からは、章の最後に「技術の上手な生かし方」「未来に技術を誠実に生かす」項目が設定されており、持続可能な社会へ幅広い視野で考えることができるようになっております。資料の特色は別冊ハンドブックで作業での活用ができ、QRコードがついているため動画や関連資料を家庭でも生かせるようになっております。表記・表現の特色は重要語句は色分けされているため、そのまま読み進めることができ、復習もしやすくなっております。総括として各内容が3章のまとまりで構成され、学習の流れに統一感があります。</p> <p>最後に開隆堂です。内容の特色は、知識及び技能が習得されるようにするための工夫の視点からは「気づく」「はたらかせる」「定着させる」が段階的にステップを踏んで学習できるように構成されており、身近な製品を示しながら解説することで見方・考え方が深まるようになっております。思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫の視点からは、知識の習得、技能の習得、問題解決、振り返りの手順がどの内容にも同じ順序になっているため、学習の流れがつかみやすくなっております。学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫の視点からは、自分の身近な技術から、問題解決、振り返りを通して得た力を「私たちの未来」「学習を振り返ろう」という内容で、幅広い社会の技術に触れることができ考えを深めることができます。技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深めるための工夫の視点からは、各内容で、分野で活躍する企業の取り組みや最先端技術を取り上げることで、身近な問題からより広い社会、世界規模での見方・考え方に広がるように工夫しております。より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫の視点からは、各内容の最終章で社会が持続可能な社会の構築に取り組んでいる現状を読み取り問題意識を持ち、生活に生かせることを考える工夫がされています。資料の特色は学習のポイントが一目でわかるマーク類を多く使用していて、更にQRコードから動画や情報を得ることができ学習を深めることができます。表記・表現の特色は内容ごとに色分けしており、1～3の区切りの大見出しのページは文字を大きくすることで、学習のステップが見取りやすくなっております。総括として「技術・技能の基礎・基本」「問題発見、問題解決」「評価・改善」「振り返り、私たちの未来」のまとまりで構成され、学習の流れが統一されております。</p> <p>以上、技術・家庭科（技術分野）の研究調査結果報告を終わります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>教科書の中の単元の配列なんですけど、どの教科書も情報の部分が1番最後に並んでいますが、今教科書の作りとしてそれを1番最後に学習しないといけなような作りになってることはございませんか。</p>

<p>技術・家庭科部 (技術分野) 会長 議長</p>	<p>特にございません。</p> <p>他に、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、投票用紙にご記入をお願いします。</p> <p>それでは、ここで休憩に入ります。15時18分再開といたします。</p>
<p>議長</p> <p>技術・家庭科部 (家庭分野) 会長</p>	<p>それでは、再開させていただきます。次は、技術・家庭科の家庭分野です。説明をよろしくをお願いします。</p> <p>失礼いたします。</p> <p>それでは、中学校技術・家庭科、家庭分野における研究調査結果を申し上げます。3社ございますので、東京書籍、教育図書、開隆堂の順で申し上げます。なお、教科書目録に従い、東京書籍は「東書」、教育図書は「教図」と省略いたします。</p> <p>まずは、内容について4つの観点からご説明いたします。</p> <p>1つ目の知識及び技能が習得されるようにするための工夫についてでございます。</p> <p>東書は、教科書の右下に「まとめよう」や「生活に生かそう」が設定されているため、1時間ごとに学習の振り返りができます。また、身に付けさせたい技能をまとめて掲載したり、多くの「実習例」が掲載される等、基礎的・基本的な知識・技能を習得できる工夫がされています。</p> <p>教図は、各項目の始めに「めあて」、終末に「学習の振り返り」が設定されていることにより、学習の前後に確認ができます。また、その章で大切な「キーワード」や学びを深めるための「学ぶ」が設定され、基礎的・基本的な理解を図る工夫がされています。</p> <p>開隆堂は、本時の「学習の目標」と単元の最後には「学習のまとめ」が設定されていて、学習の前後に確認ができます。また、実習や作業の手順の説明に写真や絵が多く掲載され、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされています。</p> <p>2つ目の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫についてでございます。</p> <p>東書は、ガイダンスでは3年間の学習を見通し、内容項目ごとに具体例が提示され、実習例では、「私のオリジナル」として工夫例を取り上げ、創造性を引き出す工夫がされています。</p> <p>教図は、自分の考えを表現しやすいように課題が設定され、生徒一人一人が自らの問題に合わせて工夫し、創造することができるように配慮されています。</p>

開隆堂は、対話や意見交換ができる学習活動が取り入れられており、自分で考え表現しやすくなるように工夫されています。

3つ目の学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫についてでございます。

東書は、実験の方法や例、活動の計画例などが詳細に掲載され、自らの生活を振り返りながらよりよい生活を創造しようとする態度を養うための工夫がされています。

教図は、各章の終末に「学びを生かそう」という課題が設定され、学習したことを自らの生活に生かそうとする実践的な態度を養うための工夫がされています。

開隆堂は、「ガイダンス」で「主体的・対話的で深い学びをしよう」として「学んだことを生活にいかす」ためのプロセスが分かりやすく示され、課題解決に向けて主体的に取り組むことができるように工夫されています。

4つ目の実践的・体験的な活動の工夫についてでございます。

東書は、様々なマークや生活の例など、個に応じた、選択できる例示が多く掲載され、基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」や「生活にいかそう」等で自らが考えて課題解決に向けて主体的に取り組むやすい工夫がされています。

教図は、各項目に「やってみよう」、「つくってみよう」という資料が設定され、また、ロールプレイング等の活動例が提示され、実践的・体験的な活動を通して、知識・技能が身に付けられるように工夫されています。

開隆堂は、たくさんの実習例や工夫例、応用例が示され、また、「やってみよう」等の課題が設定され、主体的に取り組める工夫がされています。

次に、「資料」についてご説明いたします。

東書は、本文と資料はマークで区分されており、実寸大資料など様々な視点からの資料があり、学習効果を高める工夫がされています。また、他教科との関わりを示し、教科横断的な学習に取り組めるよう工夫がされています。

教図は、「参考マーク」や「資料マーク」を示して参考資料が提示され、より細かい知識が得られるように工夫されています。デジタルコンテンツや付録に献立作成の学習で使用できる食品シールを付ける等、学習効果を高めることができるように工夫されています。

開隆堂は、「memoマーク」や「参考マーク」で参考資料が提示され、より細かい知識も得られるように工夫されています。全ての内容の終末に「持続可能な〇〇をめざして」という課題が設定され、環境問題に関心を持てるように工夫されています。

次に、「表記・表現」についてご説明いたします。

東書は、本文と資料を区別するために文字の書体を太字にしたり、フォントを変えたりして見やすいデザインになっています。教科書の端の爪見出しは、色分けし、検索性を高める工夫がされています。

	<p>教図は、爪見出しが領域ごとに色分けされ、文字の書体や色を変えることによって分かりやすくなるように工夫されています。紙面左上に「やってみよう」等のインデックスがあり、学習内容が分かりやすくなるように工夫されています。</p> <p>開隆堂は、文字の書体やフォントを変えることによって、分かりやすくなるように工夫されています。奇数ページの右上に「他教科」や「他分野」との関わりが示され、教科・内容をまたいだ学習に取り組むことができるように工夫されています。</p> <p>最後に「総括」いたします。</p> <p>東書は、1時間ごとの学習の流れが分かる工夫、内容項目ごとに「学習のまとめ」が設定されており、その都度学習の振り返りができるようになっています。また、図や写真、イラストが説明とともに多く使用され、どの生徒にも見やすい配慮がされています。</p> <p>教図は、「ガイダンス」において、課題解決学習の流れが示されていて、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。また、全体的に絵や資料が多く、ユニバーサルデザインに配慮されています。</p> <p>開隆堂は、ガイダンスにおいて「生活の見方・考え方」が提示され、自分の生活を見つめ、深めていくことができるように工夫されています。教科書が大判になり、資料の配置等にも工夫が見られます。また、ユニバーサルデザインに基づいた設計で、使いやすくなるように配慮されています。</p> <p>以上が家庭分野の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙にご記入をお願いします。</p>
議長 外国語部会長	<p>次は、外国語（英語）になります。それでは、説明をよろしくお願いいたします。</p> <p>57ページからご覧ください。</p> <p>はじめに、東京書籍 NEW HORIZON でございます。</p> <p>第1に、内容につきましては、各単元は「扉」のページから「Preview」をはさみ、本文となる「Scenes」までが一連のストーリーになっており、話題を予想しやすい構成となっております。そのなかの「Preview」という</p>

ページでは、映像を見ることによって新出の文法の形や意味だけでなく、使い方にも気づくことができるように工夫がされております。自分の意見を考え、相手に伝える活動を取り上げているページが多くあり、簡単なパターンプラクティスから、アレンジをする、即興でやり取りする、対話を続ける、論理的に議論する、とレベルアップしていく構成となっております。単元終了後、5領域すなわち「聞く、読む、話す（やりとり）、話す（発表）、書く」を統合的に扱う「Stage Activity」という活動を行い、さらに「Let's Talk」「Let's Read」などで領域ごとに実生活に即したコミュニケーション力をつける構成となっております。

第2に、資料につきましては、巻末にあるCan-doリストには他学年のみならず高等学校の目標も掲載されており系統性があります。

第3に、表記・表現につきましては、教科書がA4判であることから、指示文、写真、挿絵、図などのレイアウトにゆとりがあり、数と種類も豊富であります。以上が、東京書籍でございます。

次に、開隆堂 Sunshine でございます。

第1に、内容につきましては、単元は4つの段階を追って目標に迫れるよう構成されております。1「Scenes」ではマンガと登場人物のセリフを頼りに新出文法がどんな場面・状況・目的で使われるのかを理解するようになっております。2「Think」ではまとまった英文を読みます。その中に答えを推測する発問があり本文をより深く読み取る思考力をつけるよう工夫されています。3「Retell」は本文を再現したり自分の言葉で要約したりするための即興の表現力を高める段階です。4「Interact」では必然のある場面・トピックが設定され、即興のやりとりをする力を高めるよう構成されています。単元のあとの「Our Project」ではペア・グループによる発表など協働して取り組む課題が取り入れられ、5領域を統合的に扱うコミュニケーション活動となっております。

第2に、資料につきましては、アクティビティー用の切り取り式のカードがあり、表現活動に活用する語彙や表現が掲載されております。

第3に、表記・表現につきましては、1年生前半は手書きに近い小学校と同じ書体が使われており、後半から活字体に近い書体が使用されております。以上が、開隆堂でございます。

次に、三省堂の NEW CROWN でございます。

第1に、内容につきましては、単元は、基本的な知識・技能を習得する「GET」とそれらを活用する「USE」及び「Take Action!」とで構成されております。特に「読む」ことについて、「GET」では1partあたり40～50語程度の短い英文を読み、文脈の中で文法事項を習得し、「USE Read」のページではまとまりのある長文を読むことで読む力がついていく構成となっております。そのあとの「Project」で5領域の統合的な活動を行い、思考力・判断力・表現力を高めることができるようになっております。3年間「こ

とばを使うことは思いを伝えること」「かかわることは違いを認め合うこと」「考えることは自分と向き合うこと」「学びことは自分の可能性を広げること」をテーマに、多様な題材が整備されており、生徒の知的好奇心や興味・関心、文化や多様な社会への理解や尊重する力を養う工夫がされております。

第2に、資料につきまして、巻末にある「ロールプレシート」や「スクリプト」、カテゴリ別の単語リストなど自主学習しやすい資料が豊富にあり、自律的な学習の促進につながるようになっております。

第3に、表記・表現につきましては、全体的に活動がふんだんに盛り込まれております。マークや色を使ってわかりやすくする工夫がされております。以上が三省堂でございます。

次に、教育出版の ONE WORLD でございます。

第1に、内容につきましては、本文の内容自体にスピーチ、ディベート、他者への働きかけをテーマにした題材が多く選ばれており、また、異国文化や自国理解、世界が共有する現代の問題が話題や題材に取り上げられております。各単元の中の「Review」は、本文の内容を要約する穴埋め形式となっており、内容理解を深める工夫がされております。単元の間にある「Tips」では5領域それぞれの技能を高めるコツが紹介されております。「Project」では聞いた内容をモデルにしてペアやグループで協働しながら発表内容を深め、表現活動を行う、という流れで4技能が段階的に用いて、バランスよく活動を行うことができるようになっております。巻末の「Activities Plus」には即興のスピーチややり取りがすぐ始められるようにテーマの例や質問・応答の例がふんだんに挙げられております。

第2に、資料につきましては、巻末にアクティビティーで使える切り取り式の厚紙カードがあります。

第3に、表記・表現につきましては、各単元の最後にある Grammar では、新出表現や重要語句への理解を促すために、その語句を太字にし、文法の補足事項も載せてあります。以上が、教育出版でございます。

次に、光村図書の Here We go! でございます。

第1に、内容につきましては、3年間ひと続きのストーリーとなっており一貫性があります。そのため登場人物のもつキャラクターを理解できて共感しやすくなっております。授業での帯活動として「Story Telling」「Let's Talk」を継続的に行うことで、自分の言葉で話す力、即興のやり取りを続ける力をつけることができるようになっております。巻末の「Active Words」はテーマ別になっており、学年が上がるにつれ難易度や語数も増えていきます。これが単元での活動と連携しやすいよう参照ページが書かれていて使用しやすくなっております。単元の合間にグループで行う「You can do it!」は5領域を統合した活動であり、課題を解決することを通して、思考力・判断力・表現力を高める構成になっております。

	<p>第2に、資料につきましては、巻頭では教科書の構成とともに3年間を通しての到達目標が示されており、学習の見通しが立てやすくなってまいります。「英語の学び方ガイド」及び「Your Coach」では学び方や領域別の学びのコツをQ&A形式で知ることができるようになってまいります。</p> <p>第3に、表記・表現につきましては、単元が進むにつれて語彙数が増えていきますので、太字・細字で重要度を分けております。以上が、光村図書でございます。</p> <p>最後に、啓林館のBLUE SKYでございます。</p> <p>第1に、内容につきましては、各単元が文法ごとに「Part 1～3」に分かれ、それぞれペアワークや会話などの言語活動で新出表現を使うようになってまいります。「Target のまとめ」では新出文法をふりかえり、最後には話す活動が設定されております。Part のあとにある「Read & Think」は各単元のテーマを掘り下げた読み物になっており、内容理解として本文に関する自分の意見や考えを述べる質問が用意されております。「Express Yourself」ではそのテーマに沿った発表活動が段階的に設定されており、「Project」では既習事項を活用したアウトプット活動を行い、思考力や表現力をつける構成になってまいります。題材については、全学年で外国や日本について学ぶもの、世界で起こっていること、人権、福祉、自然などを題材として扱っており、多くの単元でSDGsにも対応しております。</p> <p>第2に、「英語のつづりと発音」ではフォニックスの知識が整理してまとめられております。また「Word box」にある語彙を「Use」や「Express Yourself」での表現活動に使いやすいように該当ページが記載されております。</p> <p>第3に、表記・表現につきましては、1年生の最後の単元までユニバーサルデザインのフォントを使用しております。また、イラストや写真を多く扱っております。以上が、啓林館でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>小学校で英語が教科化になって、中学校の教科書の導入部分は何か変わりましたか。</p>
外国語部会長	<p>中学1年教科書前半では聞くこと話すことすなわち音声から授業に入ることが多くの教科書で見られます。またアルファベットのページ綴りと発音を示すフォニックスのページも盛り込まれているところが多くございます。以上です。</p>
委員	<p>どの社もいろいろ工夫を凝らしているとお見受けしたのですが、どの社においても工夫しているところで共通にしているところは、どういうところだと捉</p>

<p>外国語部会長</p> <p>議長</p>	<p>えられるでしょうか。</p> <p>新学習指導要領の趣旨になりますけども、知識技能それと思考力判断力表現力、また学びに向かう力人間性を捉えたところで知識技能の習得というページとその活用のページという段階を分けているものが多くございます。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、投票用紙にご記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>特別の教科道徳部会長</p>	<p>次は、特別の教科道徳になります。それでは、説明をよろしく申し上げます。</p> <p>道徳専門部会から報告いたします。</p> <p>同じ項目ごとに教科書目録順に報告いたします。63ページからご覧ください。</p> <p>はじめに、「内容項目」について「東京書籍」から報告します。</p> <p>内容項目別の一覧表が配置されていて、どの内容項目をどの教材で学ぶことができるのかが明確にされています。全学年に「いじめ問題対応ユニット」が配置されています。重点項目の設定において、1年生は郷土の学習、2年生は国の学習、3年生は国際理解の学習が設定されています。</p> <p>次に、「教育出版」について報告します。</p> <p>巻頭の「道徳科で学びを深めるために」で、道徳の時間の学習への取り組み方について示しています。目次には、生命の尊さやいじめを扱った教材に記号が付けられていて、教材を複数組み合わせ合わせたユニットがあります。教材冒頭の導入には課題を意識させるような生徒への問いかけがあります。</p> <p>次に、「光村図書」について報告します。</p> <p>各教材の「てびき」や、題名欄に記載されている内容項目により、何について学ぶのか課題設定が明確となっております。「いじめ問題」「情報モラル」については全学年に「深めたいむ」を設けています。1年間を3つのシーズンに分け、それぞれにテーマを設けることで、3年間の発達段階に応じた計9つのテーマが配置されています。</p> <p>次に、「日本文教出版」について報告します。</p> <p>巻頭の「道徳科で学ぶこと・道徳科での学び方」で道徳的価値や学習方法が視覚的に示され、教材の冒頭に主題名が明示されています。「いじめの未然防止」が全学年で最重要テーマとして設定されています。中学校3年間の発達の段階を考慮し、1年生「であう」、2年生「みつめる」、3年生「ひらく」の</p>

ように、系統的・発展的に学習できるよう各学年のテーマが設定されています。
次に、「学研」について報告します。

よりよく生きるための鍵として、内容項目を巻頭に示し、教材冒頭のキーフレーズは考えを深めることができるよう工夫されています。「情報モラル」は、1教材、3学年で同じテイストのイラストを使用しています。1年生は、友情・信頼、2年生は、社会参画・公共の精神、3年生は、国際理解・国際貢献と、系統性に配慮してテーマを設定しています。考えを深める4つのステップが明示されています。

次に、「廣済堂あかつき」について報告します。

各教材に設けてある「考える・話し合う」のめあてを学習課題とし、問いを手がかりとして、生徒の主体的な学習が促されるよう配慮されています。現代的な課題に関する教材については、多様な見方・考え方ができるよう留意されています。めあては、学年段階を考慮し、教材によっては道徳的価値を明示せず「生徒自ら価値を見出し、そのよさに気づく」ことができるよう配慮されています。

次に、「日本教科書」について報告します。

巻頭の「道徳科って何を学ぶの？」には道徳科の目標や内容、取り組み方が分かりやすく示されています。現代的な課題について、身近で現実的な内容を扱ったり、課題を正面から取り上げたりしています。「生き方から学ぶ」「生き方を見つめる」「生き方を創造する」と発達段階に応じて道徳的価値について考えられるように工夫されています。

「資料」について「東京書籍」から報告します。

生徒二人と先生、それに案内役のキャラクターが要所に配置され、学習を案内するとともに興味・関心を高めるよう工夫されています。また、二次元コードが用意され、教材と関連する映像、他教科紙面、Webサイトを見られるようになっています。

次に、「教育出版」について報告します。

巻末に、学期ごとおよび学年末の自己評価用紙があります。学習に役立つウェブサイト「学びリンク」があり、巻末に47都道府県の著名人の言葉なども掲載されています。生徒の考えを深めていけるように効果的に写真やイラストが用いられています。

次に、「光村図書」について報告します。

テーマをもって配列された教材では、対話形式や枠で囲んだ文章など、文章の提示方法に工夫が見られます。また絵本や漫画形式、データや資料を使った教材もあります。二次元コードのある題材は補足のデジタル資料を活用することができます。

次に、「日本文教出版」について報告します。

悩みや葛藤などの心の揺れや、それを乗り越える強さや気高さなどの多様な生き方が扱われています。漫画形式を取り入れたたり、原作絵本の挿絵を大きく

掲載したりするなど、「あすを生きる」ならではの教材も構成されています。

次に、「学研」について報告します。

生き方から学ぶ教材とともに、長く評価されている定番教材を取り上げています。生徒が道徳の学習に自発的・主体的に取り組むことができるよう、読み物だけでなく、絵や写真、図やグラフ等が豊富にあります。

次に、「廣済堂あかつき」について報告します。

長く読み継がれてきた名作から新作までさまざまな教材が幅広く掲載されています。また、物語教材だけでなく、詩（歌詞）やエッセイ、漫画や新聞記事を基に考える教材など、生徒の学習意欲を喚起する多様な教材が取りそろえられています。

次に、「日本教科書」について報告します。

定番の読み物教材に加え、オリジナルの人物教材、イラストを用いたワーク方式の教材、同一の登場人物のシリーズ教材など様々な教材があります。巻末には自己評価用紙があり、1年間の成長や道徳の時間の振り返りができるようになっています。

「表記・表現」について「東京書籍」から報告します。

難しい表現は避けて、なるべく分かりやすい表現を用いるよう配慮されています。また、各学年で漫画教材が取り上げられ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるよう配慮されています。

次に、「教育出版」について報告します。

印象的な写真や分かりやすいイラストが多く、文章には行数が分かりやすくふられています。カラーユニバーサルデザインにも配慮されており、教材につけられている記号は学習指導要領の4つの視点に対応して色分けされています。

次に、「光村図書」について報告します。

中学校以上配当の常用漢字や固有名詞には振り仮名がつけられ、UDに配慮されています。学習指導要領の4つの視点は記号を用いて可視化することで、道徳的価値に迫りやすくなっています。「教材別テーマ一覧」には内容項目が整理されています。

次に、「日本文教出版」について報告します。

内容項目の4つの視点を、色と形で見分けられるようになっています。すべての教材が右ページ始まりになるよう構成し、わかりやすく規則的になっています。読みやすいUDフォントを使用し、中学校で学習するすべての漢字に振り仮名がついています。

次に、「学研」について報告します。

4つの視点とタイトル部の色分けをしています。タイトル部には生徒が興味を寄せられるようにキーフレーズを入れています。取り組み方がわかるマークで考えるきっかけが明示されています。中学校で学習する漢字や固有名詞に振り仮名がついています。

次に、「廣濟堂あかつき」について報告します。

未習の漢字には初出のみならず、すべてにふりがなが配されています。学習上説明を要する文言や固有名詞などには、必要に応じて脚注が付いています。別冊では当該学年で学ぶ内容項目についてのページが設けられ、内容項目順に配列されています。

次に、「日本教科書」について報告します。

教材につけられている番号は学習指導要領の内容項目に対応しており、色分けされています。どの内容を学習しているのか、分かりやすく示されています。難しい文言や固有名詞などには詳しい脚注があり、生徒が理解できるように工夫されています。

「総括」について「東京書籍」から報告します。

付録が豊富で、各学年巻末に切り取り式のホワイトボード用紙と心情円が用意されています。また、教科書裏表紙に二次元コードが用意され、教材と関連する映像、他教科紙面、Webサイトを、インターネットを通じて見られるようになっています。

次に、「教育出版」について報告します。

最近の出来事や身近な内容を扱った分かりやすい教材が多く、生徒が興味をもち共感しやすい教材となっています。教材冒頭の問いや、教材末尾の「学びの道しるべ」の発問によって生徒自身が道徳的価値について考えやすいように工夫されています。

次に、「光村図書」について報告します。

幅広い題材を扱い、教材それぞれの関連性をもたせながら各シーズンを意識して配列することで、3年間の見通しをもった構成されています。また教材ごとの「てびき」や、「深めたいむ」などで学習がより深まるよう工夫されています。

次に、「日本文教出版」について報告します。

別冊「道徳ノート」は発問欄が空欄になり、発問を自由に設定できます。自由に記述したり、友達の意見を記入したり、ワークシートを張り付けたりするスペースができ、成長の記録を積み重ね、「生徒一人ひとりを励ます個人内評価」に活用できます。

次に、「学研」について報告します。

学びを通して生徒が自らの成長に気付くことができるよう、巻頭に今の自分自身を見つめるためのページと巻末に心の成長を振り返るページがあります。最巻末に学期末に記入する「学びの記録」というページがあり、評価の参考とすることもできます。

次に、「廣濟堂あかつき」について報告します。

構成内容の異なる本冊と別冊の2分冊構成とし、指導者の展開構想や生徒の学習状況等に応じて多様な指導方法を取り入れた授業が実践できるよう工夫されています。目次の二次元コードを使用すると、Webの補助資料コンテン

	<p>ツが活用できます。</p> <p>次に、「日本教科書」について報告します。</p> <p>教材の配列が、学習指導要領の内容項目順になっており、教材の終わりは生徒が自然に考え出せるような工夫がなされています。「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」には生徒自身が道徳的価値について考えやすい問いが設けられています。</p> <p>以上で、道徳専門部会からの報告を終わりにいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>中学校の特別な教科道徳では、人間としての自己の生き方についての考え深める学習が大切だと思います。今回の報告書の資料として記載されている教材の中でも大切だと言われていますが、全体を通して、人間としての自己の生き方について考え深める学習が工夫されていることについてお聞かせいただきたいと思います。</p>
特別の教科道徳部会長	<p>書いたり、発表したり、そして体験したり、活動したり、また、みんなと話し合う。そして、多面的で多角的な考えができるように、それぞれの教科書がなされています。教科書の初めと終わりで、自分がどのように変わっていったか、そして自分の変容がどのように変わっていったか分かるようになっていきます。そして、あの QR コードや写真・イラスト・絵などの多様な資料からも発想を深める。そして、自分自身を振り返ることもできるようなものになっているのではないかと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> <p>専門部会で話題にあがっていれば教えてほしいのですが、いつも現場の中で話題に挙がることとして、タイトルのところに主題名が書いてあるものから、全く書いてないもの、それからキーフレーズ的なものが書いてあるものがあるのですが、何かもし専門部会で話題にあがっているものがあれば教えてほしいのですか。</p>
特別の教科道徳部会長	<p>そのことにつきましては、やはり指導する先生が主題名が明らかになると子供たち生徒にもわかりやすいという点。または、子供達自身に主題名がないと主題は何かなと考えたりすることもあるし、キーフレーズ的に投げかけるような問いがあるものについては子供たちの考えを深めるような問いになっているということで、それぞれ良さがあるというような専門部会の話でした。</p>
議長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>

	<p>ありがとうございました。ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしでしょうか。</p> <p>それでは投票用紙にご記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>特別支援教育 部会長</p>	<p>次は、特別支援教育になります。それでは、説明をよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、70ページからご覧ください。</p> <p>特別支援教育 国語 星本についてご報告申し上げます。</p> <p>内容について、基礎的、基本的な知識・技能を習得する工夫として、穴埋め、選択式、書き込みができるといった工夫がされています。文章は段落が短く切られていて、読みやすつくられています。気持ちの伝え方、話し合いの仕方が系統的にわかりやすく構成され充実しています。思考力・判断力・表現力等を育成する工夫では、俳句、詩など表現することを容易にするイラストや写真が巧みに使用されています。また、手紙の書き方について星4から5にかけて段階的に学ぶことができるつくりです。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫では、親しみやすい題材が多く、スモールステップで学習できる工夫があります。また、校外学習や学校紹介等の内容があり意欲を喚起できるものになっております。言語感覚という点では、同音異義語をイラストでわかりやすく学ぶことができるようになっていました。その他として高等部へ進学した際、現場実習等に役立つと思われます。資料では、両方ともローマ字が巻末に用意されており、繰り返し確認ができるつくりです。また、親しみやすい読み物教材が豊富でした。表記については、ルビがふられ、文章にあったイラスト、挿絵等で内容をつかみやすつくります。総じて、生徒にとって、親しみやすく、日常生活や卒業後の生活に結び付く題材が多く、主体的な学習態度が育まれ、人とのコミュニケーションを図る基礎を養う、生きる力を伸ばすことができる教科書になっていると考えます。</p> <p>続きまして、音楽 星本についてご報告申し上げます。</p> <p>内容としましては、基礎的・基本的知識、技能の習得に向けて、通常学級で扱う歌が豊富に掲載されていて学年に合ったものを学習することができます。また、リコーダーの演奏は易しく楽しく技能を身に付けることができると考えます。さらに視覚と言語の両方で歌い方、リズム、楽器の奏法をわかりやすくみにつけることができるつくりです。思考力・判断力・表現力等を育成する工夫では、歌や曲に合った写真や絵がありイメージしやすつくります。また、活用として星の5には音楽劇がまとめとして用意されていました。活用が重視されているとつくりとなっていると思います。主体的に学習に取</p>

	<p>り組む態度を養う工夫では、体を動かす教材や、英語の曲、新しい歌謡曲などが豊富で、段階的に設定されておりました。興味・関心を惹く内容となっております。資料では、親しみやすい曲が多く、日本の民謡や海外の曲など季節感もある曲が掲載されています。表記については、太字が効果的に使われていました。また全体の色づかいが柔らかく見やすいなっておりました。</p> <p>総じて、知的な課題がある生徒にとって、情緒の安定、注意の集中、集団参加や協力の態度の育成を図るという役割を十分担っていると考えられます。また、星4から5にかけての学びの連続性がみられ、身に付けた力を段階的に発揮して、よりよい日常生活を送ることができる教科書であると考えます。</p> <p>続きまして、数学 についてご報告申し上げます。</p> <p>内容は、数量や図形などに関する初歩的な理解のための工夫として、図形の学習では、何をどのように扱うかが段階的に写真を使って示されております。また、時計や秤、温度計等の単位や目盛りを繰り返し扱って基礎を養う工夫がされています。数量や図形を扱う態度を育成する工夫として、基本から活用と教材の流れができており、深い学びへのつながりが意識されていると考えます。また、星4で図形の基礎を学び、5で作図するといった系統性が重視されております。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、ゲームや体験的な導入があったり、デジタルとアナログがある日常生活が想定されていたりと工夫がみられました。全体的に日常生活を想定したものとなっております。資料では、九九と長さが掲載され、またそれが星の5にもつながっておりました。また、校内にあるものが絵や写真でのっていました。表記はグラフや表が直接書き込めるようになっており、文字も少なく、絵や図が多いものとなっております。総じて、生徒が具体的な生活や体験的な活動を通して、数量的な感覚を豊かにし、興味関心をもって必要性を感じながら、力を高めていくことができる教科書となっていると考えます。 以上で、報告を終了します。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは質問がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの報告につきまして協議を行います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>では、それでは投票用紙にご記入をいただきますが、この投票用紙の下に書いてありますように、特別支援教育につきましては、採択は児童と生徒の実態に合わせて使用するにふさわしいかどうかをこの点について判定し、○印をご記入いただけたらと思います。お願いします。</p>
議長	それでは、以上で調査研究報告を終了いたします。

	<p>次に投票に移ります。これから中学校教科用図書の投票を行います。大変申し訳ございませんが、傍聴人の皆様には一時退席をお願いいたします。</p> <p>投票用紙を回収いたします。</p>
議長	<p>このあと事務局が空の投票箱をもちまして、投票用紙を集めさせていただきます。投票用紙つきましては半分の半分、4分の1に折っていただきて上から入れていただきたいと思います。</p>
議長	<p>それでは立会い人の立会いのもとに開票をお願いします。</p>
司会	<p>では、開票させていただきます。</p>
開票・発表	<p>《非公開》</p>
議長	<p>それでは、傍聴人の入室をお願いします。</p> <p>それでは事務局より、中学校の投票結果の確認をお願いいたします。</p>
司会	<p>それでは投票の結果の確認いたします。</p> <p>発行者番号、発行者略称、得点の順に読み上げます。</p> <p>国語 2東書19点 15三省堂16点 17教出14点 38光村25点</p> <p>書写 2東書25点 15三省堂14点 17教出14点 38光村19点</p> <p>社会(地理) 2東書25点 17教出15点 46帝国18点 116日文12点</p> <p>社会(歴史) 2東書25点 17教出19点 46帝国15点 81山川12点 116日文14点 227育鵬社11点 229学び舎11点</p> <p>社会(公民) 2東書25点 17教出18点 46帝国16点 116日文18点 225自由社11点 227育鵬社11点</p> <p>社会(地図) 2東書18点 46帝国25点</p> <p>数学 2東書24点 4大日本12点 11学図13点 17教出13点 61啓林館24点 104数研12点 116日文14点</p>

	<p>理科 2東書18点 4大日本12点 11学図19点 17教出12点 61啓林館24点</p> <p>音楽(一般) 17教出19点 27教芸25点</p> <p>音楽(器楽) 17教出19点 27教芸25点</p> <p>美術 9開隆堂19点 38光村25点 116日文22点</p> <p>保健体育 2東書18点 4大日本20点 50大修館19点 224学研23点</p> <p>技術分野 2東書19点 6教図13点 9開隆堂25点</p> <p>家庭分野 2東書17点 6教図23点 9開隆堂23点</p> <p>英語 2東書19点 9開隆堂24点 15三省堂12点 17教出11点 38光村14点 61啓林館16点</p> <p>道徳 2東書12点 17教出13点 38光村14点 116日文23点 224学研22点 232廣あかつき11点 233日科11点</p> <p>特別支援 2東書(国語)〇5つです。 17教出(算数数学)〇5つです。 2東書(音楽)〇5つです。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本会の初めに事務局が申し上げましたが、只今発表された「選定委員会における投票結果」「各学校における調査研究の結果」及び「教科書展示会のアンケート」、これらすべての資料につきましては久喜市教育委員会令和2年7月定例会に提出します。</p> <p>それでは、皆様のご協力により無事議事を進行させることができました。ありがとうございました。最後になりましたが情報公開について事務局から説明があります。</p>
事務局	<p>過日の第1回教科書選定委員会の中で承認されました通り、「久喜市教科用図書選定委員会情報公開の基準に関する規程」に則りまして、情報公開を行ってまいります。なお公開の時期につきましては、規程の9条に従いまして事務局が東部教育事務所に報告する日の翌日以降といたします令和2年度は、東部教育事務所への採択結果の報告が8月25日ですので、翌日の8月26日以降の公開となります。</p>
議長	<p>ただいまの事務局案にご質問はありますか。</p> <p>なければこのかたちで、情報公開をしていきたいと思っております。</p> <p>それでは規約規程により、議長の任を解かせていただきます。</p>

	以後の進行を事務局、宜しくお願い致します。
司会	会長の堀内俊吾様、ありがとうございました。 それでは諸連絡を事務局よりご説明申し上げます。
事務局	本日の結果につきまして、久喜市教育委員会7月定例会に提出いたします。 教育委員の皆様にご改めてご審議いただき、その後採決を行います。 本日の資料につきましては、この後回収させていただきます。どうぞよろしく お願いいたします。
司会	閉会の言葉を副会長、槇島良治様、よろしくお願いいたします。
副会長	失礼します。長い時間大変ありがとうございました。これもちまして、令 和2年度第2回久喜市教科用図書選定委員会終了させていただきます。ありが とうございました。
司会	以上でございます。ありがとうございました。

上記の内容に相違ありません。

令和2年 8月25日

久喜市教科用図書選定委員会 委員長

堀内俊吾 